

九工大生と 一緒に実験

飯塚で小中学生90人

九州工業大の学生が、小中学生に科学の楽しさを教える教室が1日、飯塚市川津の同大飯塚キャンパスで開かれた。児童生徒ら約90人が、学生と一緒に実験に取り組んだ。

子どもたちが科学に興味を持ち、大学生はコミュニケーション能力や指導力を養ってもらおうと、同大情報工学部が2012年度から実施してきた。

子どもたちは、発泡入浴剤を燃料としたペットボトルのロケット作りなど13の実験に挑戦。割れにくいシヤボン玉を作る実験では、水と洗剤、洗濯のりを混ぜた液体を用意し、ストロー



割れにくいシヤボン玉作りに挑戦する子どもたち

で吹いた。

読売新聞 平成29年7月2日(日)朝刊